

江戸川沿川 篠崎公園地区

NO.30

2012/6/15
江戸川区土木部
沿川まちづくり課連絡先：推進第二係
TEL 5664-2616

はなの広場 見ごろ間近です！

平成20年8月に事業認可を取得した第13号江戸川緑地事業の区域が、地元の皆さまのご協力により『上篠崎 はなの広場』として完成し、平成24年4月2日開園しました。

広場内では、ノースポールの花が徐々に咲きはじめ、6月中旬ごろには満開になる予定です。花の咲いている期間が2週間程度と短いので、ぜひこの期間に皆さまお楽しみください。

この広場の花畑は、季節に応じた花を咲かせていく予定です。今後も花畑が続いていきますよう、地域の皆さまにもご協力をお願いいたします。

「上篠崎 はなの広場」



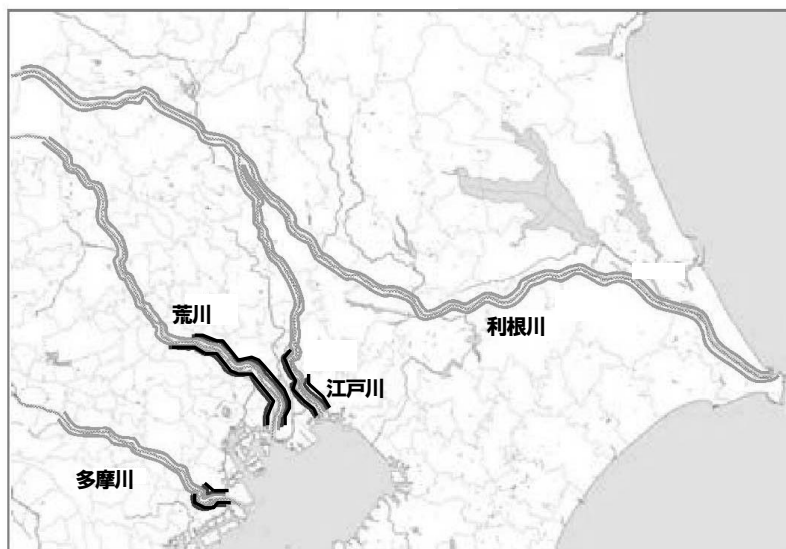
最近、皆さまからいただいたご質問を紹介させていただきます

Q1：昨年発表された高規格堤防の整備区間について詳しく教えてください。

A1：国土交通省では、「高規格堤防の見直しに関する検討会」の取りまとめを受け、昨年12月に「水管理・国土保全局関係予算決定概要」において、「人命を守る」ということを最重視し、そのために必要な整備区間として「人口が集中した区域で、堤防が決壊すると甚大な人的被害が発生する可能性が高い区間」とするとの発表を行いました。下図のとおり従来の区間(約873km)が今後の区間(約120km)に縮小され、江戸川区内における荒川、江戸川は、今後の区間(約120km)として位置付けられました。

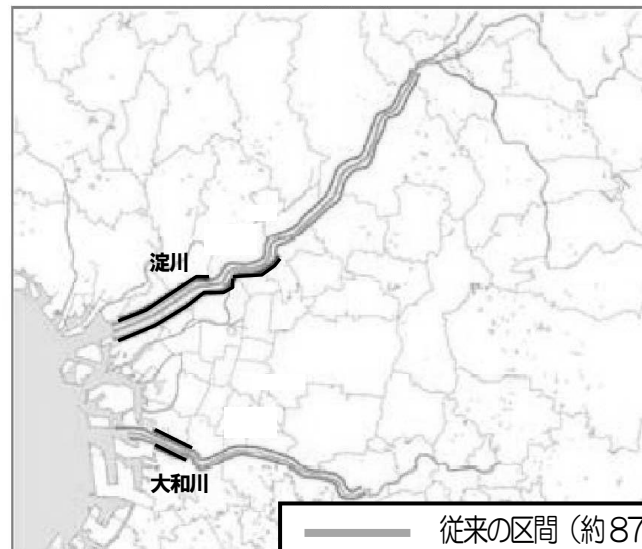
江戸川や荒川の最下流に位置し、陸地面積の約7割が海拔ゼロメートル地帯である本区としては、水害や地震などの災害に備え堤防強化や高台づくりが必要です。今後も事業の着実な推進を国に要請し、北小岩地区・篠崎公園地区ともに安全で安心なまちづくりを目指し事業を進めてまいります。

首都圏



平成23年12月 国土交通省水管理・国土保全局
「平成24年度水管理・国土保全局関係予算決定概要」より

近畿圏



—— 従来の区間(約873km)
—— 今後の区間(約120km)

Q2：はなの広場が整備されてきれいになりましたが、いつまで利用できるのですか。

A2：『上篠崎 はなの広場』は、スーパー堤防による盛土が行われるまでの間ご利用いただけます。

篠崎公園地区のまちづくりは、スーパー堤防との一体整備を目指し、土地区画整理事業や都市計画道路補助第288号線の街路事業の認可に向けた準備を進めております。

また、広域避難場所である篠崎公園や江戸川緑地とあわせて、良好な環境を整備するとともに、防災機能の充実を図り災害に強いまちづくりを行っていきます。

『上篠崎 はなの広場』はスーパー堤防との一体整備により、水害時にも安全な避難場所となる緑地として生まれ変わります。

地域の皆さまには大変ご心配をおかけしておりますが、今しばらくお待ちくださいますよう、ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

<連絡・問い合わせ先>

えんせん

沿川まちづくり課 推進第二係

篠崎地区まちづくり事務所

TEL 5664-2616

※お電話は平日午前8時30分から午後5時までの間にお願いします。

【URL】 <http://www.city.edogawa.tokyo.jp/gyosei/toshikeikaku/machidukurijoho/index.html>

